

第71回  
八戸・南部・青森  
全国高校  
スケート

第2日

【評】八学光星は終始防戦一方の展開を強いられ、完敗を喫した。0-1で迎えた第1ピリオド後半、後半に守備の隙を突かれ連続失点。以降も相手の猛攻を食い止められなかった。

攻撃では相手の速いチェックで攻撃の芽を摘まれ、敵陣に攻め込めなかった。最後まで好機をつくれず、1本もシュートを打てなかった。

**GK下館好守を連発**

○：八学光星は、先月の北海道高校選手権で準



優勝の清水に歯が立たな  
かった。「相手のスピー  
ド、パス回しについてい  
けなかった。チェックも  
主将のDF林は悔しさを  
にじませた。

【アイスホッケー1回戦・八学光星―清水  
（北海道）】第2ピリオド、自陣ゴールを  
守る八学光星Ⅱふくちアイスアリーナ

速かった。1本でもシュートを打ちたかった」。

その中で気を吐いたのは1年GKの下館。115本のシュートを浴びたが、好セーブの見せ場を何度もつくった。「チームの士気が下がらないよう、自分だけでも頑張る姿を見せて、他の選手に元気を与えよつと思っただ」と振り返った。